

	号外	定価1部2円	9月25日は県人 勧闘争ヤマ場の事 務局長交渉。職場 実態を突き付け、 改善勧告実現に向 け全力を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

## 2018県人勧闘争④ 9.18地公共闘・人事委員会職員課長交渉

# 人事委員会 具体的改善策示さず

月例給・一時金 民間は大きく好転しているとは言えない

諸手当改善 通勤手当：ガソリン価格動向を踏まえタイミングを判断  
住居手当：調査概要を精査・どのようにするか検討中

## 9.25事務局長交渉で県庁座り込み行動配置・前進回答強く求める

9月18日、岩手県地方公務共闘会議（議長：佐藤淳一岩教組委員長）は、2018 県人勧に係る第1回目となる交渉を蛇口職員課総括課長と行った。交渉結果は次のとおり。

### 【交渉結果】

県人勧の作業状況について、例年どおりであると

したもの、検討状況を見ながら決定するため現時点では回答できないとした。月例給・一時金については、「公民較差に関し、民間給与実態は昨年より大きく好転している状況にない。国は大手中心だが、県内は中小企業が厳しい状況にある」「初任給は、国の人勧も踏まえ、較差は広がりつつあり、分析を進めている」とし、公民較差の動向を含めて不透明な回答にとどまった。給与制度の総合的見直しの現給保障対象者の動向は、「現給保障対象者が相当数いることは承知。職員給与は民間との均衡を踏まえ検討」との従前の姿勢に終始したため、再考を求めた。



改善勧告に向け実態を訴える地公共闘交渉団



回答する蛇口職員課長

通勤手当は「ガソリン価格の動向を踏まえ総合的に検討中であり、過去の改定のタイミングを見ながら検討し、人事委員と協議」、住居手当は「地公共闘のデータを含め精査中。国、他県の動向を含めどのようにすべきか検討中」との見解にとどまったことから、遠距離通勤の実態や家賃高騰の実態を訴え、具体的な改善勧告を求めた。

専門職種の処遇改善、休暇制度、長時間労働是正も具体策を示さなかったことから、次回の事務局長交渉での前進回答を求め、その日の交渉を終了した。

人事委員会は、『検討中』・『国・他県動向を踏まえ検討』との姿勢に終始し、具体的な改善勧告の見通しが示されないままだ。県地公共闘は9月25日ヤマ場となる事務局長交渉に県庁座り込み交渉支援を配置し、現場の切実な実態を訴え、人事委員会の積極姿勢を強く求めていく。主な交渉結果は裏面のとおりに。

## 1 月例給・一時金の改定

(地公共闘) 今年の公民較差の状況、勧告日はいつ頃か。

(職員課長) 作業は例年どおり。勧告日は作業状況を見ながら決定。具体的数値は示せないが、民間は昨年よりも大幅に好転しているとはいえない。初任給は公民較差が拡大しており、分析を進めている。

(地公共闘) 中小企業はじめ県人勧結果が波及する。このため大幅な賃上げが不可欠。一時金は昨年の国との格差0.05月の解消と今年の人勧0.05月の0.1月の確実な実現を強く求める。

## 2 現給保障対象者の対応について

(地公共闘) 給与制度の総合的見直しの現給保障対象者数が相当数に上り、このままでは保障期間が満了する来年4月以降は賃下げに陥る。人事委員会としてどのように改善する考えか。

(職員課長) 相当数いることは承知。給与は民間との均衡が基本であり、今後も検討が必要。

(地公共闘) 喫緊の課題であり危機感を持っている。人事委員会として具体的な改善策を示すなり、任命権者に対応を促すなどの積極姿勢を示すべき。事務局長交渉時に具体内容を。

## 3 諸手当の改善について

(地公共闘) 自己負担解消に向けて、通勤手当・住居手当の改善を要求してきた。検討状況はどうか。

(職員課長) 通勤手当は、ガソリン価格の動向を踏まえ総合的に検討しており、その結果を踏まえ人事委員に諮る考え。ガソリン価格の上昇傾向を踏まえ、過去の改定時のタイミングを踏まえ検討しているが課題は多い。高速道路利用はあまり状況の変化が見られない。パークアンドライドは他県では11県で制度があり、研究を進めていく必要がある。住居手当は、地公共闘の調査結果も含め、職員の実態を踏まえて実態を調査している。国や他県の状況を含め、どのようにすべきか検討中。

(地公共闘) ガソリン価格を踏まえれば改定に踏み切るべき。検討中にも自己負担が続いている。距離区分新設と併せて対応を。住居手当も支給上限額の職員が半数。カバー率を上げる努力を。

## 4 専門職種の処遇改善

(地公共闘) 獣医師、薬剤師をはじめとした専門職種の処遇改善の検討状況は。

(職員課長) 専門職種は全国的に人材確保難であることは認識。応募に比して採用数は少ない。とりわけ獣医師は他県と比較して調査・分析を進めており、人事委員にも検討結果を伝えることにしている。

(地公共闘) 切実な要望であり、このままでは職場が成り立たない。今年こそ道筋を示して欲しい。

## 5 休暇制度の拡充

(地公共闘) 学校行事等の特別休暇、介護との両立支援策、不妊治療への支援策に向けた検討状況は。

(職員課長) 両立支援は安心して働く環境の整備として重要な課題。両立支援は4月に看護休暇の取得対象の拡大などをしてきた。両立支援の拡充に当たり、国、他県の状況を踏まえて検討する。

(地公共闘) 「イクボス」宣言している状況を踏まえれば、制度面での拡充は不可欠。具体的な検討を。

## 6 長時間労働是正策

(地公共闘) 長時間労働是正の実効力ある対策を強く求める。

(職員課長) 昨年度の超勤実態は国体のあった2016年度よりも減少するも高水準。長時間労働の是正は公務でも重要であり、今年も人事委員会報告に盛り込む方向で検討しており、詰めている。

(地公共闘) 超勤縮減だけでなく、適正な勤務時間管理や要員確保など踏み込んだ対策を。